

直方の歴史と文化

直方の遺跡①

文 榊 正 澄

第 13 回

文化財の保護について

昭和25年（1950）に施行された文化財保護法は、前年に発生した法隆寺金堂壁画の焼損事件を契機に制定されました。

第三条の条文は「政府及び地方公共団体は、文化財がわが国の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、且つ、将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、その保存が適切に行われるように、周到の注意をもってこの法律の趣旨の徹底に努めなければならない。」と定めています。直方市においても、この趣旨を実現するための施策を実施しています。



光福寺の土壘

遺跡の発掘調査について

長い歴史を有する直方市においては、先人たちの営みを物語る住居、墳墓など多数の遺跡が各地に残されており、土木建築工事により貴重な遺跡が破壊される場合には、文化財保護法の定めによって発掘調査が行われます。

前回紹介した水町遺跡群のように工事が中止され、遺跡公園として保存整備されるケースは極めて稀で、遺跡の発掘調査後は埋め戻されたり削られたりして工事が実施され遺跡を再び見ることはできなくなります。

発掘調査の記録と広報活動

直方市教育委員会が発掘調査した遺跡については記録として後世に伝えるため発掘調査報告書が作成されて、市立図書館で閲覧することができます。

市民に対する広報活動としては、発掘作業直後に現地説明会が開催されるほか、中央公民館で教育委員会の専門職員による説明会が開催されます。

最近では、昨年12月6日に教育委

員会主催による「光福寺土壘と中世の直方展・ミュージアムトーク」が中央公民館二階の郷土資料室で開催され、本年2月27日には直方郷土研究会主催による「近年の直方市内における遺跡発掘調査成果」が開催されましたので、そのうち二件の遺跡を簡単に紹介します。

光福寺遺跡

下境の光福寺の三方を囲む土壘本体の内部を初めて発掘調査したもので、出土土器によって、土壘が鎌倉時代初期の形成と推定できる貴重な調査成果となりました。

羽高東横穴墓群

田川バイパスの羽高交差点の東、直方バイパスとの間に広がる丘陵地にあり、古墳時代の横穴墓群と奈良・平安時代の集落の生活痕跡が確認されました。



羽高東横穴墓群

文化財に関する問い合わせ

文化・スポーツ推進課社会教育係
(TEL 25-2326)

直方警察署管内での犯罪発生状況（2月中）

刑法犯総数	78件（-38件）	車上ねらい	2件（-8件）
自転車盗	4件（-4件）	空き巣	4件（±0件）

（ ）内は前年比

最近の発生事例紹介～警察官をかたるオレオレ詐欺

捜査していたら、犯人があなたの名前と連絡先を持っていた。被害に遭ったらいけない。確認のため通帳残高と暗証番号を教えてください。

残高は〇〇万円で、暗証番号は〇〇〇〇です。

確認する必要がある。取りに行かせるので、通帳を茶封筒に入れ、郵便受けに入れておいて欲しい。



電話でお金はすべて詐欺！すぐに相談・110番！

直方警察署だより

編集後記

洞ノ上浩太選手が、東京マラソンで見事日本人1位でゴール。そして、リオデジャネイロパラリンピックに内定。市内にこんなに凄い選手がいると思うと、胸が熱くなります。リオでは、ぜひ金メダルを狙ってほしいです。(O)

直方警察署

(TEL 22-0110)

携帯電話向け情報提供サービス



情報メール
「つながるのおがた」
緊急情報、イベント情報など



直方市携帯電話ホームページ

休日当番医、市役所電話帳など

R100

点検割合率100%再生紙を使用しています

PRINTED WITH
SOY INK